# GAP拡大の推進

# 【令和3年度予算額 296(283)百万円】 (令和2年度第3次補正予算額 82百万円の内数)

#### く対策のポイント>

持続可能な農業構造の実現や、コロナ禍を踏まえた新しい生活様式への対応を図る観点から、GAP認証審査のオンライン化や団体認証の取得推進、農業 教育機関や輸出に取り組む農業者等への支援など、国際水準GAPの取組の拡大に向けた取組を支援します。

#### く事業目標>

- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施「令和12年度まで]
- 日本発GAP認証(ASIAGAP)をアジアで主流の仕組みとする [令和12年度まで]

#### く事業の内容>

## 1. 持続的生産強化対策事業のうちGAP拡大推進加速化事業

273 (283) 百万円

- 国際水準GAP普及推進交付金
- 国際水準GAPの取組の拡大に向け、指導員による指導活動や農業教育機関 の認証取得を、都道府県向け交付金により機動的に支援します。
- ② 畜産GAP拡大推進加速化

畜産GAPの普及・推進体制の強化に向け、指導員等の育成やGAP認証取得 **等の取組を支援**します。

③ GAP認証審査のオンライン化推進

新しい生活様式に対応したオンラインでの認証審査体制の確立に向け、現地審 **査との比較検証や先行事例に関する調査等の取組を支援**します。

- ④ 団体認証の取得推進による産地全体のリスク低減実証 産地におけるGAPの団体認証取得等を通じて、農作業事故等の産地リスクを **分析評価し、低減する取組を支援**します。
- 国際水準GAPガイドライン普及促進 国際水準GAPガイドラインを普及促進するための研修を全国で開催する取組 を支援します。
- ⑥ 日本発GAPの国際化推進

日本発GAP認証(ASIAGAP)の利用拡大及び輸出促進のため、海外実需 者に対する研修等の取組を支援します。

- 2. グローバル産地づくり緊急対策事業(令和2年度第3次補正予算)のうち 有機JAS認証、GAP認証取得等支援 82百万円の内数 農産物の輸出拡大に向け、GAP認証(GLOBALG.A.P.、ASIAGAP)の 取得等や審査員候補者の育成、審査機関の新規参入の取組を支援します。
- 3. 日・アセアン連携によるGAP理解度向上推進 23(-)百万円 日本発GAP認証の理解度向上のため、アセアン各国の意向に応じた研修開催 や専門家派遣等に係る調整を行う調整員をアセアン事務局に派遣します。

#### く事業イメージ>

認証取得支援に関する事業

○【農産】農業教育機関への認証取得支援 国農産定額 都道府県 農業教育機関 (1①の事業) ○【農産】JA等による団体認証を通じた産地リスク低減 国農産定額 民間団体等 定額 産地(JA等) (1④の事業) ○【農産・畜産】輸出に取り組む農業者等への認証取得等支援 農産「定額 民間団体等 定額、1/2 農業者等 (2の事業) 玉 都道府県 農業者等 **畜産** 定額 定額 (12の事業)

_			
ſ	化学 サイ	宝木 什么	同吸ルに明すっ古米
	哲學・普及、	杏甘体剂、	国際化に関する事業
	3H 13 H 1971		

○【農産·畜産】GAP指導活動等の推進

(1①の事業) (1②の事業) 都道府県

玉

定額

○【農産】GAP認証審査体制の強化(オンライン化、審査員育成、審査機関参入)

玉

定額

審查員候補者等

民間団体等 (1③の事業) 玉

民間団体等 定額、1/2

○【畜産】畜産GAPの普及・推進体制の強化を図るための取組の支援

審査員の育成・充実、畜産GAP国際規格化に向けた (1②の事業) 協議、飼養管理の研修、認証審査のオンライン化等 (1③の事業) 玉

○【農産】ASIAGAPの普及拡大による国際化推進

玉 民間団体等 (16の事業) 拠出金

「お問い合わせ先〕生産局農業環境対策課(03-6744-7188)

畜産振興課 (03-6744-2276)

アセアン事務局

民間団体等 (1⑤の事業)

(2の事業)

(3の事業)

# GAP拡大の推進(認証取得支援関係)

【令和3年度予算額 133(139)百万円の内数】 (令和2年度第3次補正予算額 82百万円の内数)

#### く背黒>

GAP認証の取得は、販売戦略、取引先からの要請等に基づき、農業者が判断することが基本。

GAP認証農産物を取り扱う意向を有する事業者が増加傾向にあるなど、農業者自らの経営判断で認証取得する環境が整いつつある中、農業者にとって メリットの大きい団体認証の取得推進や、将来の農業を担う人材の育成、輸出拡大などの目的に応じた認証取得を推進。

## <政策目標>

ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施「令和12年度まで]

#### く事業の内容>

- 1. 持続的生産強化対策事業のうちGAP拡大推進加速化事業
- ① 国際水準GAP普及推進交付金(拡充) 100(92)百万円の内数 農業教育機関によるGAP認証の新規取得及び維持・更新を、都道府県向け 交付金により支援します。
- 団体認証の取得推進による産地全体のリスク低減実証(継続)

33 (47) 百万円

JA等の産地によるGAPの団体認証取得等を通じて、農作業事故等の産地リス **クの低減効果を分析評価し、実証する取組を支援**します。

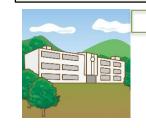
2. グローバル産地づくり緊急対策事業(令和2年度第3次補正予算)のうち 有機JAS認証、GAP認証取得等支援 82百万円の内数 輸出に取り組む農業者によるGAP認証(GLOBALG.A.P.、ASIAGAP)の 新規取得や輸出向け商談等の取組を支援します。

#### <事業の流れ>



## く事業イメージ>

農業教育機関の認証取得に対する支援



認証取得を通じて生徒がGAPを学習



**GAPを** 修得した 農業人材 の育成

1② JA等による団体認証を通じた産地リスクの低減



このトラクター は安全?

ドリフト被害 が心配じゃ

産地の抱 団体認証 えるリスク を低減

輸出拡大

輸出に取り組む農業者の認証取得等に対する支援

農産物を 輸出するぞ! 認証の取得

農業者の取組を個別・団体を問わず支援



商談会等へ出展

の促進

でリスクを

管理

審査

認証取得、商談の実施等により海外との取引先確保

[お問い合わせ先] 生産局農業環境対策課(03-6744-7188)

# GAP拡大の推進 (指導·普及、審査体制、国際化関係)

【令和3年度予算額 142(106)百万円の内数】 (令和2年度第3次補正予算額 82百万円の内数)

#### く背景>

指導・普及:都道府県のGAP指導体制の下、国際水準GAPガイドラインに基づく現地指導やオンライン指導等を推進。

審査体制:認証審査のオンライン化や審査員の確保等を通じてGAP認証審査体制を強化し、農業者の経営判断に基づく認証取得を側面から支援。 際 化: ASIAGAPをアジアで主流の仕組みとするため、海外での利用拡大や理解度向上といった普及拡大に向けた取組を多角的に支援。

#### く政策目標>

- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施 [令和12年度まで]
- 日本発GAP認証(ASIAGAP)をアジアで主流の仕組みとする「令和12年度まで]

### く事業の内容>

#### 1. 持続的生産強化対策事業のうちGAP拡大推進加速化事業

- ① 国際水準GAP普及推進交付金(拡充) 100(92)百万円の内数 現地指導やオンライン指導、集団指導等のGAP指導員による指導活動を、都 道府県向け交付金により機動的に支援します。
- ② GAP認証審査のオンライン化推進(新規) 10(-)百万円 現地審査とオンライン審査との比較検証や、他規格・先行事例の調査等のオンラ イン審査の精度向上及び国内での導入拡大を図る取組を支援します。
- ③ 国際水準GAPガイドライン普及促進(継続) 5(6)百万円 国際水準GAPガイドラインを普及促進するための研修を全国で開催する取組を 支援します。
- 4 日本発GAPの国際化推進(継続) 5(8)百万円 日本発GAP認証(ASIAGAP)に関する海外実需者向け研修や、海外での 商談等の取組を支援します。
- 2. グローバル産地づくり緊急対策事業(令和2年度第3次補正予算)のうち 有機JAS認証、GAP認証取得等支援 82百万円の内数 審査員候補者の育成及び審査機関の新規参入の取組を支援します。
- 3. 日·アセアン連携によるGAP理解度向上推進(新規) アセアン各国の意向に応じた研修の開催や専門家派遣等に係る調整を行うため、 アセアン事務局に調整員を派遣します。

# <事業の流れ>

玉

国

玉 定額

拠出金

都道府県、民間団体等

(1の事業)

定額、1/2以内

民間団体等

アセアン事務局

審查員候補者等

(2の事業)

(3の事業)

#### く事業イメージン

1①及び③ 国際水準GAPガイドラインを活用した指導活動の推進



GAPガイ ドラインが 普及



国際水準GAP の取組が定着

現地審査の省略

により三密対策

審査の効率化で

1②及び2 GAP認証審査体制の強化(オンライン化、審査員育成等)

現状



新しい生活様式への対応が必要

審査件数の増大で審査が遅延

オンライン審査の導入

- ・現地審査との比較検証
- ・先行事例等の調査

審查費用低減

審査員及び審査機関の増加

・ 審査員候補者の研修受講

- 審査機関の新規参入

認証取得の 円滑化のため の環境を整備

1 ④及び3 ASIAGAPの国際化の推進

新規審査

**ASIA GAP** 

利用拡大:海外実需者向け研修、海外での商談等

**ASIAGAPを** アジアで主流 の仕組みへ

理解度向上:アセアン各国で研修開催や専門家派遣等

[お問い合わせ先] 生産局農業環境対策課(03-6744-7188)